

京大発！ 新規事業開発のための SDGs イノベーション セミナー

第1回 水素社会というビジネスチャンス ～パリ協定を見据え～

2015年9月の国連サミットで、持続可能な世界を実現するための17のゴールがSDGs（持続可能な開発目標）として定められるとともに、アジェンダ第67条では民間セクター（企業など）に対して、社会課題をイノベーションで解決すること、つまり、**SDGsをビジネスチャンス**として捉えることを要請しています。

本セミナーでは、このSDGsの「ビジネスチャンス」の側面にフォーカスしたうえで、**< SDGsの課題の最前線 ～ 課題解決のための最先端研究 ～ 課題解決のための実装技術 ～ 市場調査会社による将来展望 >**までを「京都大学の知」や「企業の実践力・情報力」をベースに**一気通貫で紹介**し、企業の経営戦略、研究企画を担う方々のSDGsに資する新規事業開発（企画書作成）に役立てていただくことを目的としています。

第1回目は、SDGsの「7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、「13 気候変動に具体的な対策を」をターゲットに、2016年に発効したパリ協定を見据えた「水素社会」というビジネスチャンスをテーマに開催します。

■SDGs（持続可能な開発目標）はビジネスチャンス！

■SDGsの課題～解決研究・技術～将来市場展望まで一気通貫で紹介！

■日時

2019. 3. 15 (金)
13:00～17:00

■場所

新丸ビルコンファレンススクエア
Room902（東京駅丸の内北口徒歩1分）

■本セミナーの受講対象（例）

- SDGs（特にエネルギー・気候変動問題）をビジネスチャンスと捉え、新規事業開発を目指されている方
- 水素市場に参入しようとお考えの方、又は、参入するも進捗が停滞してしまっている方
- 水素・新素材関連で、新たな研究テーマをお探しの研究企画部門の方

■スケジュール

- | | |
|--------------|--|
| <u>13:00</u> | Opening イン트로ダクション |
| <u>13:05</u> | 「エネルギーのサステナビリティと将来市場について」
講師：小西哲之 京都大学教授 |
| <u>13:50</u> | 「水素社会インフラとしての多孔性材料を用いた
高圧水素ガス貯蔵」
講師：樋口雅一 京都大学特定助教/(株)Atomis創業者 |
| <u>14:45</u> | 「水素社会の実現に向けた岩谷産業の取組み」
講師：宮崎淳 岩谷産業(株)中央研究所長 |
| <u>15:30</u> | 「水素エネルギー利用システム・技術の将来展望」
講師：渡辺啓太 (株)富士経済主査 |
| <u>16:10</u> | ExtraStage 講師全員による質疑応答 |

SDGsの課題の最前線
（潜在的マーケット）
【京大研究者】

課題解決のための最先端研究
（次世代テクノロジー）
【京大研究者】

課題解決のための実装技術
（先進企業のモデル事例）
【先進企業研究者】

市場調査会社による将来展望
（市場の将来展望）
【(株)富士経済リサーチャー】

- 定員 60名程度（先着順）
- 受講料 20,000円（税込）
- お申込み 詳細内容やお申込み等は、下のURL、
右上のQRコードを参照していただくとともに、
申込フォーム、自動返信メールをご確認ください。
<https://bit.ly/2I6g7v9>



- 主催 京大オリジナル株式会社
- 共催 京都大学産官学連携本部
- 協力 株式会社富士経済大阪マーケティング本部
- 問合せ 京大オリジナル株式会社
研修・講習事業部（担当：岡田・松本）
TEL：075-753-7778
E-mail：kensyu@kyodai-original.co.jp

本セミナーの構成・ねらい

Opening イン트로ダクション

SDGsの基本内容と本セミナーの構成について説明します。

京大研究者によるSDGsの課題の最前線

⇒潜在的マーケット・先行者利益獲得の可能性

SDGsという社会的課題を将来の隠れたマーケット（市場）として捉えてください。地球環境問題や社会の価値観の変化、規制などによって引き起こされるゲームチェンジ。その先にあるマーケットに、いち早く「気づき」を得た方が、その先行者利益を得ることができます。

京大研究者による課題解決のための最先端研究

⇒自らのリソースを生かし、新たなシーズ獲得へ

次の時代を担う可能性を秘めたサイエンス・テクノロジーを紹介し、みなさまのリソース（人材、知財、技術、資金等）と組み合わせて何かできないか、いくつかの仮説をたて、それらを検証することで、将来のキーテクノロジーとなる新たなシーズを獲得する可能性が広がります。

先進企業による課題可決のための実装技術

⇒モデル事例から協業可能性・参入構造を探る

先進企業のモデル事例について紹介。川上、川下の垂直方向での協業、役割分担することによる水平方向の協業の可能性を探ってください。また、業界への参入構造を検証するための有用な情報も得ることができます。

市場調査会社（㈱富士経済）による将来展望

⇒新規事業開発に必須の「数字」を提供

新規事業開発の企画書には「数字」（市場規模、将来推計等）は必須です。みなさまが参入している、又はしようとしているマーケットの規模を見据えてください。

Extra Stage 講師全員による質疑応答

「そこまで話す？」という回答を引き出す質問力を試してみてください。

第1回の講演内容と講師紹介

「エネルギーのサステナビリティと将来市場について」

講師：小西哲之 京都大学エネルギー理工学研究所 教授

「思い込みによるエネルギー環境問題の誤解に大きな転換を迫りたいと考えています。」

東京大学博士（工学）。日本原子力研究所室長を経て、2003年よりエネルギー理工学研究所教授。国際熱核融合実験炉（ITER）理事会のテストプランケット計画委員会（TMB-PC）議長（2009～2012）及び委員。原子力学会理事。エネルギーシステム評価、サステナビリティ学。核融合、先進原子力、等のエネルギーシステムの工学と、一方では安全性や環境、社会や経済への影響を評価する研究、さらには人類の持続可能な発展を考える学際領域「サステナビリティ学」の研究に従事している。

「水素社会インフラとしての多孔性材料を用いた高圧水素ガス貯蔵」

講師：樋口雅一 京都大学高等研究院 物質・細胞統合システム拠点iCeMS 解析センターマテリアルズ部門責任者 特定助教

「大学で生まれた研究や成果（知財、知識、ノウハウなど）が、なぜ社会に広がりなく、どうすれば広がりやすいかに関心があり、何をすれば広がり始め、イノベーションにつながるかを考えています。結局、まずは〇〇〇〇が近道だと思っています。」

京都大学博士（工学）。理化学研究所播磨研究所、東京大学大学院化学プロセス工学専攻特任助教を経て、2017年より高等研究院特定助教。2015年には、多孔性配位高分子（PCP/MOF）に特化した日本唯一のベンチャー企業（現㈱Atomis）を創業した。また、ユニークメガネを装着して小学生から企業までの幅広い層に向けた理系クイズ講演を行うなどマルチに活躍。

「水素社会の実現に向けた岩谷産業の取組み」

講師：宮崎淳 岩谷産業株式会社 中央研究所長 常務執行役員

「究極のクリーンエネルギーである水素。創業以来、長年に渡り水素社会の実現の夢を追いかけ続けている岩谷産業の最新の取組みを紹介します。」

1978年、岩谷産業㈱入社。LPガスの輸入基地建設プロジェクトに携わった後、液体水素関連の技術開発、LPガス関連の技術開発を担当。2005年水素エネルギー部担当部長、2008年、理事 技術部長、2011年、執行役員 技術部長（兼）水素エネルギー部長、2012年常務執行役員、2016年より中央研究所長。

「水素エネルギー利用システム・技術の将来展望」

講師：渡辺啓太 株式会社富士経済 大阪マーケティング本部主査

「水素エネルギー社会は、いつ、どのようにやって来るのか？ 20年近くに渡る経験も踏まえ、お話しします。」

2000年に環境・エネルギー分野に配属。2002年に燃料電池に関するマーケットレポートの創刊にて、調査・編修担当として参画。以来、水素エネルギー分野をはじめ、電動自動車、住宅設備、バッテリーなどの部門と連携しながら、定期的に水素技術の市場レポートの発刊を担当。

■日時：2019年3月15日（金）13:00～17:00

■場所：新丸ビルコンファレンススクエア Room902
<https://bit.ly/2tiU8am>

■定員：60名程度（先着順）

■参加費用：20,000円（税込）

■主催：京大オリジナル株式会社 共催：京都大学産官学連携本部 協力：株式会社富士経済大阪マーケティング本部

■お申込み：詳細内容やお申込み等は、下のURL、右下のQRコードを参照していただき、申込フォーム、自動返信メールをご確認下さい。

<https://bit.ly/2I6g7v9>

【問合せ】京大オリジナル㈱研修・講習事業部 岡田・松本

TEL：075-753-7778 E-mail：kensyu@kyodai-original.co.jp



【参考】SDGsとは

- 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までの国際目標。
- 持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓い、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として位置づけられる。
- アジェンダ第67条では「民間企業の活動・投資・イノベーションは、生産性及び包摂的な経済成長と雇用創出を生み出していく上での重要な鍵である。（中略）我々は、こうした民間セクターに対し、持続可能な開発における課題解決のための創造性とイノベーションを発揮することを求める。（略）」として、SDGsをビジネスチャンスとして捉えることを推奨している。
- 17のゴール

- ①貧困をなくそう ②飢餓をゼロに ③すべての人に健康と福祉を ④質の高い教育をみんなに
- ⑤ジェンダー平等を実現しよう ⑥安全な水とトイレを世界中に
- ⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに ⑧働きがいも 経済成長も
- ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう ⑩人や国の不平等をなくそう ⑪住み続けられる街づくりを
- ⑫つくる責任 つかう責任 ⑬気候変動に具体的な対策を ⑭海の豊かさを守ろう
- ⑮陸の豊かさを守ろう ⑯平和と公正をすべての人に ⑰パートナーシップで目標を達成しよう

SDGsのロゴ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



京大オリジナル株式会社は京都大学が100%出資した事業子会社です。当社の収益の一部は京都大学に還元し、最先端の研究などに活用されます。